

日さく（さいたま市大宮区、若林直樹社長）は、中学生が考案した企画を基に新たな販促品のオリジナルグミ「地層グミ」を作成した。展示会や会社説明会で地域住民や学生に配布する。

同社はさいたま市の中高生が授業を通じて企業へビジネス提案を行う探究学習プログラム「さいたまエンジン」に地域への貢献や交流を目的に参画し、与野南中学校の生徒が「地層グミ」を考案。「子どもから大人まで、楽しく地層を学んでほしい」という中学生の思いを受け、若林社長は「地域の中学生に喜んでもらいたい。なんと



中学生が考案！ 地層グミ作成

日さく 探究学習プログラム参画、展示会などで配布へ

ボーリングの様子が描かれたパッケージデザイン

か実現したい」と若手を中心にプロジェクトチームを立ち上げた。

創業以来初めてのお菓子開発には埼玉県内の企業が協力。優しい水色が目を引くパッケージにはボーリングの様子を描いた。色と味にもこだわり社員が試食と話し合いを重ね、地層らしさと食欲をそそる見た目を両立。子どもから大人までおいしく楽しめる元気いっぱいのグミに仕上げた。